

令和5年度第4回福岡県がん対策推進協議会 議事録

日時: 令和6年1月19日(金)16:00～

場所: 吉塚合同庁舎6階 Y603A 会議室

※議事録の文章は、実際の発言の趣旨を損なわない程度に、読みやすく整理したものです。

(司会)

では、皆様お揃いになりましたので、「令和5年度第4回福岡県がん対策推進協議会」を開催させていただきます。

委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会進行を務めます、がん感染症疾病対策課、課長補佐の柏田でございます。よろしくお願いいたします。

まず、開会に当たりまして、当課課長の牟田口より、一言、御挨拶申し上げます。

(牟田口がん感染症疾病対策課長)

がん感染症疾病対策課長の牟田口でございます。本日は、大変お忙しい中、福岡県がん対策推進協議会にご出席いただきありがとうございます。委員の皆様方には、日頃より本県のがん対策の推進にご理解・ご協力をいただいておりますことを、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

さて、第4期福岡県がん対策推進計画については、前回の協議会で委員の皆様方に、計画素案のご議論をいただいたところです。

今回、いただいた意見を踏まえた計画最終案を、事務局の方で作成しております。次期計画についてご議論いただく、最後の協議会となりますので、限られた時間ではございますが、忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願いいたします。

(司会)

続きまして、新しく委員に就任された方を紹介します。福岡県市長会より、筑後市長西田委員です。また、委員の出欠につきまして、上野委員、江頭委員、大賀委員、川口委員、塚田委員、星井委員については、所用によりご欠席の連絡をいただいております。

事務局を紹介します。保健医療介護部医監の佐野でございます。がん感染症疾病対策課課長技術補佐の近藤でございます。がん対策係長の綾部でございます。

また、本日の議事内容は、議事終了後、県ホームページへ掲載予定となっております。ご了承いただきますようお願いいたします。

では、議題の審議にあたりまして、事前に配布しております資料の確認をさせていただきます。

[配布資料の確認]

それでは、議事進行を、蓮澤会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(蓮澤会長)

それでは、会議次第に沿って進めさせていただきます。発言は、議長の指名に従ってお願いいたします。「第4期福岡県がん対策推進計画案について」、事務局より説明をお願いします。

〔事務局説明〕

(蓮澤会長)

ありがとうございました。それでは、計画案についてご質問、ご意見などありましたら挙手をお願いいたします。

(藤副会長)

記載内容は問題ありません。パブリックコメントについては、精度管理への施策という記載で、要精検率とか、これ自体は精度管理とは少し違う話だと思いますが、表においてもがん種ごとにデータは出されていますし、県の取組としてもP22にしっかり書いてありますので、よいかと思います。

(本田委員)

パブリックコメントの回答案及びP22の記載内容についても、このままで問題ないかと思います。

ただ、依頼を受けて検診機関ごとの精度管理がどういう状況になっているのかということ、調べてご報告はしましたが、例えば肺がんであれば精検受診率が、検診機関によって21～90%までかなりの開きがあります。最も開きが少ないのが乳がん。これは恐らく女性が乳がんに対する関心が深いから、精検受診率が高いのだと思います。全体的に低いのは先程もお話ししました大腸がん。大腸がんは便潜血だけで検査して、ひっかかったからといって、あまり気になさらない方が多いのだろうと。

精度管理の実態把握については、現状は、チェックリストで○×をつけるだけですが、今回こういう記載をしていただいていますので、検診機関の精度管理が実際はどうなっているのかまで踏み込んで確認し、精度管理していく必要があると思います。

(大島委員)

緩和ケア部分についても、前回の発言を反映していただき、こうした記載内容で問題ないと思います。

(藤副会長)

今回の修正内容について、全体として賛成ですけども、P28の緩和ケアの質の評価について、計画ですので詳しいことばかりは書けないと思いますが、何をするのか聞かれた場合に、緩和ケアの質の評価というのは抽象的すぎるかなという印象を受けましたが、いかがですか。

(事務局)

拠点病院間でピアレビューという相互で質の評価をやっていきますので、もし記載を追加するのであればそういった内容になるのではないかと考えます。

(藤副会長)

そういう記載を加えないと、県民の皆様は何をするのだらうと思ってしまう気がしますので、今お話しいただいた、相互にチェックしあうピアレビューというのは拠点病院でやっていますので、様々な取組の中の1つだと思いますが、重要な取組だと思しますので、そういう記載を加えた方が受け入れられやすいのかなと思います。

(大島委員)

ロジックモデル案のアウトプット指標で、拠点病院等のピアレビュー実施件数というものが入っていますが、ピアレビュー等という文言を、藤副会長からもあったとおり、具体的に書けるのであればそうした表現もいいのかと思います。

(蓮澤会長)

今文章案を考えられますか。

(事務局)

「拠点病院等間のピアレビュー等、緩和ケアの質の評価を行うことにより～」という文言でいかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(辻委員)

細かな表現の部分で大変申し訳ありませんが、P34の一番下に「介護機関等」という文言で、他の文章では「介護事業所等」となっています。あえて「介護機関等」としたのは何か理由があるのでしょうか。

(事務局)

緩和ケアの地域連携クリティカルパス「地域とつなぐ一言日記帳」の文言からとってきたという理由だけですので、「介護事業所等」に統一させていただきます。

(蓮澤会長)

パブリックコメントへの県の回答についても、これで異議ありませんか。

(藤副会長)

回答内容は問題ありません。これは意見というよりは、情報提供ですけれども、福岡県で国指定のがん診療連携拠点病院等は、24あるというのは実は全国でもかなり多い方です。20以上あるところがそもそも多くありません。しかし、多くの県は県指定の拠点病院、国指定の拠点病院に準ずるもので指定をしているところもたくさんあります。福岡県は、全ての2次医療圏に1つずつではないのですが、

医療圏を4つに分けて24備えているというのは、均てん化という意味においては、かなりのところまでいっていると認識しているのではないかと思います。

(蓮澤会長)

全体をとおして委員の皆様、他に何かご意見ありませんか。

(各委員)

意見無し。

(蓮澤会長)

ありがとうございました。それでは、今日出た意見に対して修正いただきその後どういたしましょうか。

(事務局)

会長一任ということにさせていただけたらと思います。

(蓮澤会長)

委員の皆様それでよろしいですか。

(各委員)

異議なし。

(蓮澤会長)

それでは本日予定しておりました議題は終了しましたので、事務局にお戻しします。

(事務局)

蓮澤会長、ありがとうございました。また、委員の皆様におかれましては、これまで熱心なご討議をいただき、誠にありがとうございました。

いただいたご意見の計画本文への反映につきましては、先程お話ししたとおり、後日会長に確認いただき、会長一任とさせていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、第4期福岡県がん対策推進計画は、令和6年3月に策定を予定しております。次年度以降におきましても、計画に基づくがん対策の総合的かつ計画的な推進に、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして、「令和5年度第4回福岡県がん対策推進協議会」を終了いたします。